

法 学 〈 P 4 〉

教員名

教養・医学教育大講座 法学
教授 池田 裕明

I 一般学習目標

法を社会統制のひとつとして生きた社会の関連の中で考えるために法は抽象的ではなく、具体的な問題に則して重点的に把握し、法学を孤立した体系ではなく他の社会科学と関連させて理解する。

II 個別学習目標

1. 社会のあり方を説明することができる。
2. 社会人として必要な法的知識を説明することができる。
3. 法の基本概念を説明することができる。
4. 法の役割を説明することができる。
5. 世の中の価値観を説明することができる。
6. 憲法問題を説明することができる。
7. 人権を説明することができる。
8. リーガルリテラシーを説明することができる。
9. リーガルマインドを説明することができる。
10. 司法改革を説明することができる。

III 教育内容

講義項目

1. プロローグ、法と常識、法学の価値
2. 法とは何か、法と社会生活、法と道徳、法の目的、権利と義務
3. 法の適用、法と裁判、裁判制度、裁判の基準、法の解釈
4. 法の体系、法の分類
5. 国家と法
6. 犯罪と法
7. 家族生活と法
8. 財産関係と法
9. 労働と法
10. 国際社会と法
11. エピローグ

IV 学習および教育方法

講義形式で行う。DVD、ビデオ等も利用する。

V 評価の方法

定期試験の結果を60%、講義での課題（ミニッツペーパー）を20%、レポート等を20%で評価する。

VI 教科書・参考書

教科書：現代法学入門（有斐閣双書）
ポケット六法 2017年（有斐閣）

参考書：講義中に紹介します。

※講義には必ず、現代法学入門とポケット六法を持参すること。